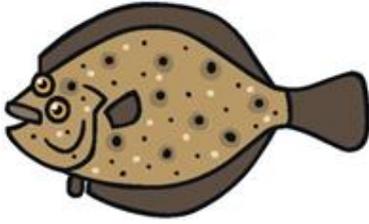


ヒラメ



- ・ 砂浜域に生息し、銚子～富津の沿岸で小型機船底びき網、刺網、定置網などにより漁獲される。
- ・ 1歳で全長35cm、2歳で45cm 体重1kgに成長し、3歳以降は雌雄差が拡大し、5歳では雄が60cm 体重2.3kgに対して雌では70cm 体重3.9kgに達する。
- ・ 産卵期は3～6月。
- ・ 1982年から種苗放流を実施。

資源評価

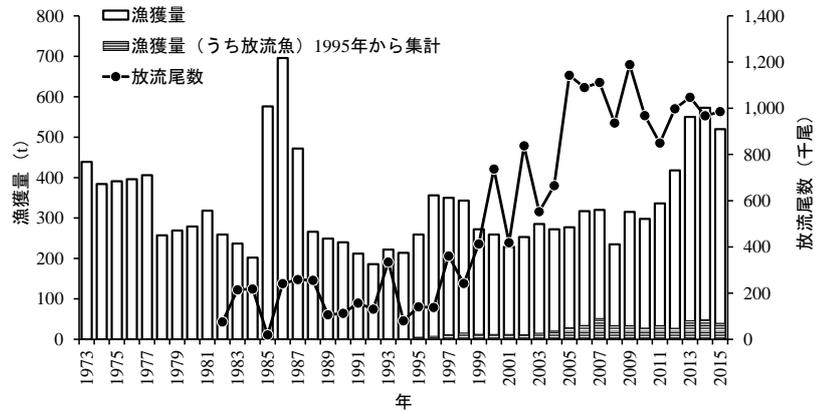
水準：高位



動向：増加



漁獲量



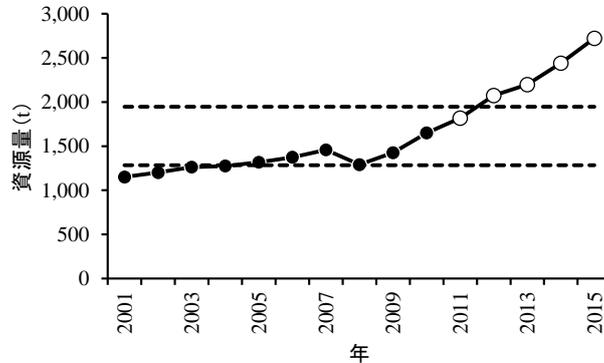
千葉県におけるヒラメ漁獲量（千葉農林水産統計年報）と放流尾数の経年変化

1973年以降200～400tで推移し、1985～1987年には漁獲量が一時的に増加した。近年の漁獲量は増加傾向にあり、2015年は520t漁獲された。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(資源量)から4分位により評価した。
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は、漁獲物測定、漁獲統計の資料から推定される資源量で判断した。
- ・ 2015年の資源水準は最近15年間の中では高位、最近5年間の資源動向は増加。



千葉県におけるヒラメ資源量の経年変化

資源管理の取り組み

- ・ 小型魚（全長30cm未満、底びき網は25cm未満）の再放流、刺網の設置時間制限のほか、県も一体となって実施している種苗放流など漁業者による自主的な資源管理が行われている。